

こんにちは

日本共産党杉並区議会議員

# 酒井まさえです

2025年11月23日 №.196 連絡先 日本共産党杉並区議団控室 03-3312-2111

090-9325-5676 sakaimasae.0507@gmail.com



## 都市計画道路補助133号線 地域の住民は都と区に見直しを求める



9月22日都へ申し入れ



9月26日区へ申し入れ

補助133号線の計画地は、縁が多く閑静な住宅街で、長年住み続いている方も多い地域です。そこに、約70年前に策定された道路計画が優先整備路線とされました。計画では、中杉通りから五日市街道までの890メートル、幅16メートルの道路を新たに造るもので、100軒もの住宅が立ち退きの対象となります。

年に「第4次優先整備路線」となりましたが、岸本区政のもとで事業化されています。地域からは「静かな街を壊さないで」という声が上がっています。

### 「静かな街を壊さないで」 133号線の見直しを求める

都市計画道路補助133号線は、2016年に「第4次優先整備路線」となりましたが、岸本区政のもと事業化しません。

地域の住民は2018年、「補助133号線に対する会」を立ち上げ、署名活動や東京都・杉並区への要望書提出を何度も行い、見直しを求めてきました。世話人会は現在も月1回開かれています。岸本区政のもとでは「さとことブレスト」や「デザイン会議」が実施され、地域住民がそこで意見を表明しています。

### 失われる地域の文化とつながり

杉並区は昨年度、独自に都市計画道路の整備効果を「防災」「環境」「活力」「暮らし」の4分野、25の指標で評価し、その結果を公表しました。結果は道路整備の必要性を示す内容でしたが、こうした指標では地域の歴史、商店街や閑静な住宅街の景観、地域コミュニティの喪失といったリスクは評価できません。数字には表れないものの、こうした要素は住民の生活にとってかけがえのないものであり、あちこちにおいても非常に重要です。

岸本区長は党区議団の質問に対し、「定量化が難しいものはデザイン会議で話し合っていただきました」と答弁しました。

### 都に住民の声を

都市計画道路の「第5次事業化計画」は、2027年3月までに報告される予定です。住民たちは、「133号線が東京都の施工路線であることから「事業化をしないよう」東京都と、区を通じて都に意見を届けるよう改めて要望しました。尚、超党派の区議が同行しました。



# 物価高騰から区民の命・くらし・営業守るために 緊急対策を求める要望書を区長に提出

11月7日申し入れする区議団



物価高騰は、ますます深刻な事態となっています。東京都区部の消費者物価指数は、毎月、前年同月比で上昇を続け、10月には2.8%の上昇となりました。とりわけ、主食であるコメ（コシヒカリを除く）は38%もの値上がりとなっています。

さらに深刻なのは、物価高騰が沈静化するどころか、生活の根幹となる食料品や電気代などのさらなる値上げが予想されていることです。10月だけでも飲食料品の値上げは3,000品目

を超え、「値上げの勢いは前年に比べ強い」と分析されています。

全国的世論調査（日本世論調査会／10月25日）でも、物価高騰が生活の「打撃になっている」との回答は93%にのぼり、「食費」の負担が重いという回答は87%に達しています。

こうした深刻な状況だからこそ、杉並区が、物価抑制や消費税減税などの実施を国に強く迫るとともに、区民のくらしと営業を守るためのあらゆる手立てを講じることが求められています。

すでに他区では多様な取り組みが始まっています。それらの事例も参考に、7項目の対策を早急に講じるよう要望しました。

年末年始対策も要望しました。詳細は区議団のホームページをご覧ください。



11月に入り、ようやく紅葉がみられ、中旬から気温も下がつきました。

この季節は、寒暖差や乾燥により体調を崩しやすく、風邪やインフルエンザなどの感染症の予防も大切になります。健康維持のポイントを挙げてみます。

## ① 服装の調整

・朝晩と日中の気温差に対応できるように、重ね着で調節するようにしましょう。

## ② 身体を温める習慣

・シャワーだけでなく、湯船にゆっくり浸かって身体を芯から温めましょう。

## ③ 入浴の注意

・寒暖差に注意。脱衣室にヒーターなどを置きましょう。

## ④ 肌や喉の乾燥

・保湿剤を使ったり、加湿器を活用し、肌や喉の乾燥を防ぎましょう。

## ⑤ 感染症の予防

・外出後や食事前には、手洗いとうがいをしつかりしましょう。

・部屋の換気や加湿器で部屋の湿度を40～60%に保ちましょう。

・人混みでは、マスクを着用しましょう。  
インフルエンザの予防接種はお済ですか？まだの方は早めに接種しましょう。（治療中の方は、主治医と相談してください）

お困りのことがありましたら



11月30日まで防災・防犯カタログ申し込みを！

健康の話 11月の健康のために